

平成18年度 第2回 ExTEND2005 基盤的研究企画評価検討会
平成18年度 第2回 ExTEND2005 野生生物の生物学的知見検討会
合同検討会 議事要旨

I 日時：平成18年8月18日（金） 16:00～22:00

II 場所：石綿健康被害対策室

III 出席者（敬称略）：

基盤的研究企画評価検討会委員：佐藤 洋（座長）、小倉正敏、小山次朗、遠山千春、
永沼 章、萩野 哲、益永茂樹、渡邊知保

野生生物の生物学的知見検討会委員：渡邊 信（座長）、岩松鷹司、倉本 満、
椿 宜高、村田幸雄

欠席（ご意見については事前受け取り）：倉本満、端 憲二

研究応募者（24件）

事務局：上家環境安全課長 他

議題：

- 1.平成18年度 ExTEND2005 基盤的研究フェージビリティースタディーについて
- 2.その他

議事要旨

- (1)平成18年度 ExTEND2005 基盤的研究フェージビリティースタディーについて、応募した24件の申請者（代理を含む）による研究計画概要の説明後、検討委員との質疑応答が行われた。
- (2)24件の応募課題より審査の結果、以下の6研究課題が採択候補となった。採択候補となった研究課題について詳細な研究計画書案の提出を求めることとした。

- 1.「野生生物のリスク評価を目指した核内受容体リガンドの網羅的解析法の開発」
代表研究者：愛媛大学 岩田 久人
- 2.「アラキドン酸代謝変動への影響からみた環境化学物質の内分泌かく乱作用機構の解析」 代表研究者：昭和大学 原 俊太郎
- 3.「日本沿岸における生態系攪乱の実態解明とその要因解析」
代表研究者：国立環境研究所 堀口 敏宏
- 4.「農薬がシャジクモ類減少の一因である可能性に関するフェージビリティースタディー」 代表研究者：産業技術総合研究所 山室 真澄
- 5.「アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明に向けて」
代表研究者：石川県立大学 上田 哲行
- 6.「無脊椎動物幼若ホルモン受容体の探索と作用機構の解明」
代表研究者：国立環境研究所 鑑迫 典久

以上